

都道府県がん対策推進計画「いいとこ取り」分野別ロジックモデル

ここに掲載したロジックモデル形式で表示した分野別がん対策計画案は、第16回がん政策サミットご参加者が、多様な立場のメンバーが含まれるグループワークによって共に作成したものです。いいとこ取りのモデル的計画を作成することで、自分の県の計画の改善余地を把握するために行った作業です。本資料を参照・活用される前に、以下の点を必ずご確認ください。

■手順

1. 都道府県の第3次(またはそれに該当する)がん対策推進計画を、ロジックモデルに落とし込んだ資料(https://cpsum.org/logicmodel_pref)と、それを分野別にまとめた資料(https://cpsum.org/logicmodel_field)をがん政策サミット事務局が作成しました。
2. 分野別資料を材料に、患者関係者、行政、医療提供者等が含まれるグループワークで、各県の「いいとこ取り」を行いました。まず、アウトカムの目標設定に関して作業をしてから、施策の選定について作業を行い、全体を仕上げました。

■注意事項

1. 約70分という限られた時間のワークであったにもかかわらずここまで仕上がりましたが、見直す時間が不十分であったことなどから、分野によっては未完成の部分があります。また、あくまでも当日のグループメンバーによる案です。本ロジックモデルを利活用される際には、ご自身で内容を確認してからにしてください。チェック項目としては、下記のようなことが考えられます。また、参考資料として「改訂・誰にでもできる! 第3次がん計画策定ガイドブック」(https://cpsum.org/pdf/summit/14/cplanguide_1705.pdf) 4-5ページがあります。
 - 最終アウトカムは、患者さんのあるべき姿の「状態」が書かれている
 - 中間アウトカムは、最終アウトカム達成に必要な患者さん、医療現場、地域等の「状態」が書かれている
 - 施策欄は、中間アウトカムの達成につながる「活動内容」が書かれている
2. 指標欄は 指標、目標、データソース が混在していたため、後日事務局の方で、目標部分を【 】で、データソース部分を()でくる作業を加えました。
3. 施策欄最下部に書かれている「効果が期待できず実施を再考すべき施策」については、理由を十分に記載できておりません。

ご不明な点がございましたら、がん政策サミット事務局までお問い合わせください。

分野 がんの一次予防

- 着実に実施すべき施策

受動喫煙防止を宣言させることにより、優良施設として認定する
- 着実に実施すべき施策

やめたい人に対して医療機関が、禁煙サポート、禁煙治療を実施する
- 着実に実施すべき施策

医療従事者が喫煙者に対して、健康被害の情報提供、禁煙外来の受信勧奨、禁煙治療を実施する
- 着実に実施すべき施策

県、市町村、事業所、医療機関は、肝炎ウイルス検査陽性者の受診勧奨を行い、確実に治療につなげる
- 着実に実施すべき施策
- ユニークで実施を検討すべき施策

受動喫煙防止条例未対応施設等を個別訪問する(神奈川県)
- ユニークで実施を検討すべき施策

未成年者禁煙支援相談窓口の設置、普及を行う(奈良県)
- ユニークで実施を検討すべき施策

効果が期待できず実施を再考すべき施策

普及啓発を実施する
(事務局注: これだけでは実効性がないということ)

中間アウトカム	指 標
たばこの煙を吸わない環境になっている	受動喫煙の機会を有する者の割合 施設の禁煙化率
中間アウトカム	指 標
たばこを吸う人が禁煙している	喫煙率
中間アウトカム	指 標
肝炎ウイルス検査の陽性者が医療機関で継続的にフォローされている	治療完遂率

分野アウトカム	指 標
がんに罹る人、死亡する人を減らす	罹患率 死亡率

分野 がんの早期発見・がん検診

着実に実施すべき施策
HP、広報誌を活用した普及啓発 性別や年齢も考慮する

着実に実施すべき施策
職域で受診機会のない従業員や家族、事業主等への啓発をする

着実に実施すべき施策
検診にかかわる人材育成プログラムを作る

着実に実施すべき施策

着実に実施すべき施策

ユニークで実施を検討すべき施策
がん検診サポーターを通じた受診促進をする(山口県)

ユニークで実施を検討すべき施策
それぞれのライフスタイルに合った受診しやすい環境を整える(山口県)

ユニークで実施を検討すべき施策

効果が期待できず実施を再考すべき施策

中間アウトカム 精度の高いがん検診が実施されている	指 標 要精検率 陽性反応的中率 がん発見率
中間アウトカム がん検診を受けやすい体制が整っている	指 標 精検受診率 がん検診受診率
中間アウトカム 世代に関係なくひとりひとりががんに関心を持つ環境が整っている	指 標 対策型検診 職場の検診率

分野アウトカム 早期発見からの必要な医療を受けられる	指 標 臨床進行度分類における早期がんの割合【増加】 死亡率【低下】
-------------------------------	--

分野 医療提供体制

- 着実に実施すべき施策

専門的な医師、看護師等の確保、育成をする
- 着実に実施すべき施策

多職種によるチーム医療を提供できる体制を整備する
- 着実に実施すべき施策

多職種によるカンサーホートを実施する
- 着実に実施すべき施策

医療従事者は、インフォームドコンセントを行い、セカンドオピニオンについて情報提供する
- 着実に実施すべき施策

クリティカルパスの整備など、地域医療提供体制を強化する
- ユニークで実施を検討すべき施策

AIを活用した医療の提供を行う(チーム案)
- ユニークで実施を検討すべき施策
- ユニークで実施を検討すべき施策

<p>中間アウトカム</p> <p>標準治療が受けられている</p>	<p>指 標</p> <p>カンサーホートにかけられた割合 【増加】</p>
<p>中間アウトカム</p> <p>適切な意思決定支援が受けられている</p>	<p>指 標</p> <p>インフォームドコンセントを受けた患者の増加 セカンドオピニオンをうけた患者 【増加】</p>
<p>中間アウトカム</p> <p>切れ目のない治療等を受けられている</p>	<p>指 標</p> <p>クリティカルパスの運用数 【増加】</p>

<p>分野アウトカム</p> <p>どこに住んでいても、安全、安心、適切な医療を受けられている</p>	<p>指 標</p> <p>5年相対生存率 【増加】 納得いく治療選択ができた患者の割合 【増加】</p>
---	---

効果が期待できず実施を再考すべき施策

分野 手術・薬物・放射線・免疫療法の充実

- 着実に実施すべき施策

拠点病院やがん診療に携わる地域の医療機関において、多職種によるチーム医療をさらに充実させる
- 着実に実施すべき施策

がん相談支援センターなどから、セカンドオピニオンを紹介できる体制の充実を進める
- 着実に実施すべき施策

すべての病院は、患者に対しインフォームド・コンセントを行うとともに、セカンドオピニオンについて情報提供を行う
- 着実に実施すべき施策

各病院は、患者に対し、アドバンスケアプランニングを行う
- 着実に実施すべき施策

拠点病院以外の病院が外来化学療法を提供する(継続受診の方へ)
- ユニークで実施を検討すべき施策

医師会、歯科医師会、看護協会において、啓発活動を行う(大分県)
- 今後実施を検討すべき施策

遠隔治療、ロボット
都道府県を超えて、生活圏で必要な医療を提供する(チーム案)
- ユニークで実施を検討すべき施策

自治体が遠隔地のがん拠点病院を受診する際の交通費を助成する(チーム案)

効果が期待できず実施を再考すべき施策

<p style="text-align: center;">中間アウトカム</p> <p>(がん医療体制の充実) 各病院がキャサポートを行い、チーム医療の体制が強化されている</p>	<p style="text-align: center;">指 標</p> <p>キャサポートで症例検討を行った医療機関数 キャサポートの開催回数</p>
<p style="text-align: center;">中間アウトカム</p> <p>各院が、がん医療の質の向上等を目指し、PDCAサイクルを導入し、適切で質の高い医療が提供される</p>	<p style="text-align: center;">指 標</p> <p>PDCAサイクルを導入する医療機関数</p>
<p style="text-align: center;">中間アウトカム</p> <p>患者が適切にセカンドオピニオンを受け、納得した医療を受けられる</p>	<p style="text-align: center;">指 標</p> <p>セカンドオピニオン件数 【増加】</p>

<p style="text-align: center;">分野アウトカム</p> <p>がん患者が居住地にかかわらず、それぞれのがんの特性に応じて、がん患者が納得した適切かつ質の高いがん医療が等しく受けられる</p>	<p style="text-align: center;">指 標</p> <p>(患者調査) 診断から治療について納得して受けられた患者の割合 治療に満足している患者の割合</p>
--	--

分野 チーム医療

着実に実施すべき施策
 キャンサーホートを、がん種等の必要に応じて定期的を開催する

着実に実施すべき施策
 個々の患者に必要な治療やケアについて、緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム等の専門チームと連携する等、患者が必要とする連携体制を整備する

着実に実施すべき施策

着実に実施すべき施策

着実に実施すべき施策

ユニークで実施を検討すべき施策
 医療チームのメンバーは、がん患者とその家族もチームの一員と考えを活動する(静岡県)

ユニークで実施を検討すべき施策
 がんネットテレビ会議を活用し、がんの診断・治療に関する最新情報を収集し、治療に活用する(福島県)

ユニークで実施を検討すべき施策

効果が期待できず実施を再考すべき施策

中間アウトカム キャンサーホートが開催され、患者に応じた医療が提供されている	指 標 がんと初めて診断された患者のうちのキャンサーホートで治療方針が決定された割合
中間アウトカム がん患者が必要な時にサポートを受けられるチーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	指 標 (患者満足度調査)
中間アウトカム	指 標

分野アウトカム がん患者およびその家族が、多職種から構成されるチームによる診断から治療、その後のフォローを含めた全人的なサポートを行う「トータルケア」の提供が受けられている	指 標 チーム医療によるトータルケアに満足しているかどうか(アンケートにより聞く)
---	--

分野 がんゲノム医療

- 着実に実施すべき施策

ゲノム医療の提供体制を検討する
- 着実に実施すべき施策

ゲノム医療に関する県民の理解を促進する
- 着実に実施すべき施策

ゲノム医療を提供する医療従事者の人材を育成する
- 着実に実施すべき施策

ゲノム情報の取り扱い、ルール作りをする
- 着実に実施すべき施策

ゲノム情報の質の高いデータベースを確保する
- ユニークで実施を検討すべき施策

がんゲノム医療がスムーズに提供できるためのシステム作りや調整を担うコーディネーターを設置する(静岡県)
- ユニークで実施を検討すべき施策

がんゲノム医療をがん教育の中でも実施する(チーム案)
- ユニークで実施を検討すべき施策

効果が期待できず実施を再考すべき施策

<p><u>中間アウトカム</u></p> <p>がんゲノム医療が、県内でどこでも提供できる体制になっている</p>	<p><u>指 標</u></p> <p>がんと初めて診断された患者のうちのキャンサーホートで治療方針が決定された割合</p>
<p><u>中間アウトカム</u></p> <p>がんゲノム医療について、県民に普及啓発できている</p>	<p><u>指 標</u></p> <p>県民のゲノム医療の理解度</p>
<p><u>中間アウトカム</u></p> <p>がんゲノム医療を受ける患者・家族のサポートが受けられる</p>	<p><u>指 標</u></p> <p>相談窓口の設置の有無や数</p>

<p><u>分野アウトカム</u></p> <p>適切なゲノム医療が提供されている</p>	<p><u>指 標</u></p> <p>がんゲノム医療が受けられた人数 がんゲノム医療が提供できる施設数</p>
<p><u>分野アウトカム</u></p> <p>がんゲノムを調べることで、個別化医療ができる</p>	<p><u>指 標</u></p>
<p><u>分野アウトカム</u></p> <p>その遺伝子変異に対応する薬の開発が進む</p>	<p><u>指 標</u></p>

分野 緩和ケア

- 着実に実施すべき施策

患者の苦痛を定期的に確認する
- 着実に実施すべき施策

緩和ケアチームとの連携方法を明示する
- 着実に実施すべき施策

ACP(アドバンスドケアプランニング)を普及する
- 着実に実施すべき施策

緩和ケアマップをわかりやすく患者に提供する
- ユニークで実施を検討すべき施策

患者の苦痛穂毎日モニタリングする(沖縄県)
- ユニークで実施を検討すべき施策

小児・AYA世代の緩和ケアを実施する(東京都)
- ユニークで実施を検討すべき施策

患者も参加することによる、患者目線の緩和ケア研修を実施する府(福井県)
- ユニークで実施を検討すべき施策

患者の疼痛管理、満足度を診療報酬に反映させる(グループ案)

効果が期待できず実施を再考すべき施策
 医師に対する緩和ケア研修を実施する
 (事務局注: 医師だけでは不十分)

中間アウトカム	指 標
希望する場所で、すべてのがん患者と家族が緩和ケアを受けられる	
中間アウトカム	指 標
迅速かつ適切な緩和ケアが受けられる	
中間アウトカム	指 標
患者や家族が痛みやつらさを訴えることができる環境が整備されている	

分野アウトカム	指 標
患者やその家族の痛みやつらさが緩和され、生活の質が向上している	

分野 相談支援および情報提供

<p>着実に実施すべき施策</p> <p>がん相談支援センターの利用促進と、相談支援の質を向上させる</p>
<p>着実に実施すべき施策</p> <p>ライフステージに応じた相談支援体制を整備する</p>
<p>着実に実施すべき施策</p> <p>ピアサポートを活性化する</p>
<p>着実に実施すべき施策</p> <p>患者に必要ながんに関する情報を、見える化する</p>
<p>ユニークで実施を検討すべき施策</p> <p>がん患者の生殖機能の温存に向けては、的確な時期に治療を選択できるよう、患者向け療養情報冊子やHPなどを通じた情報提供に努めるとともに、がん診療拠点病院のがん治療医と生殖医療専門医との連携体制の構築を図っていく(大阪府)</p>
<p>ユニークで実施を検討すべき施策</p> <p>がん診療拠点病院において、アピアランスケアに関する個別相談会や講習会の開催など、患者の視点に立ったきめ細やかな取組が進むよう、がん診療連携協議会と連携し、がん患者のアピアランスケアの充実に努める(大阪府)</p>
<p>ユニークで実施を検討すべき施策</p> <p>県は、がん患者が必要とする正しい情報について、SNSを生かして双方向の情報発信が可能である特性を生かして、患者家族からの反応に対して、必要な対応を行う(島根県)</p>

<p>効果が期待できず実施を再考すべき施策</p> <p>重粒子センターにおけるがん治療を支援できるよう、金融機関と連携し、治療開始時に公的医療保険の対象とならない重粒子線がん治療費の負担を軽減するため、利子補給制度の構築を図る(大阪府)</p>

<p>中間アウトカム</p> <p>がん患者やその家族等が質の高い相談支援が受けられる体制ができている</p>	<p>指 標</p> <p>相談できる場があったと回答した患者の割合</p> <p>がん相談支援センター利用者満足度</p>
<p>中間アウトカム</p> <p>患者やその家族がピアサポートをうけることができている</p>	<p>指 標</p> <p>ピアサポート利用者の満足度</p>
<p>中間アウトカム</p>	<p>指 標</p>

<p>分野アウトカム</p> <p>がん患者とその家族が、がんにより生じた療養生活の心配や悩みなどが軽減されている</p>	<p>指 標</p> <p>納得のいく治療選択ができた患者の割合</p> <p>自分らしい生活を送れていると回答した患者の割合</p>
---	---

分野 希少がん・難治性がん対策

- 着実に実施すべき施策

拠点病院を中心に、ゲム医療を推進し、手術・放射線・薬物療法、化学的根拠に基いた免疫療法、および緩和ケアを充実する
- 着実に実施すべき施策

正確かつ迅速に病理診断され、治療開始できる体制の整備を図る(病理コンサルテーションの活用を含む)
- 着実に実施すべき施策

拠点病院当期、国が整備する希少がんに関する情報を集約発信する体制や、全国の相談支援センターとの連携体制等を活用し、患者家族に対し、適切な情報提供を行う
- 着実に実施すべき施策

全国がん登録を活用した患者数ならびに治療状況等の実態を把握する
- ユニークで実施を検討すべき施策

「施設別がん登録件数検索システム」を活用し、がん種別に一定の診療ケインのある施設の情報提供に努める(秋田県)
- ユニークで実施を検討すべき施策

県内3大学が拠点病院等と連携して、がん診療について教育を行う「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」の活用等により、診療に係る医療従事者の育成を行う(福岡県)
- ユニークで実施を検討すべき施策

効果が期待できず実施を再考すべき施策

<p style="text-align: center;"><u>中間アウトカム</u></p> <p>国内や県内の医療連携により、適切な治療が受けられる</p>	<p style="text-align: center;"><u>指 標</u></p> <p>拠点病院等のうち、がん診療に関する情報集約・提供を行っている医療機関数</p>
<p style="text-align: center;"><u>中間アウトカム</u></p> <p>患者やその家族に対して、相談支援や情報提供を適切に行うことができる</p>	<p style="text-align: center;"><u>指 標</u></p> <p>適切な相談支援を行うことができる医療機関への紹介も含め、相談支援を行っている医療機関数</p>
<p style="text-align: center;"><u>中間アウトカム</u></p> <p>適切な医療を受ける体制が整っている</p>	<p style="text-align: center;"><u>指 標</u></p>

<p style="text-align: center;"><u>分野アウトカム</u></p> <p>希少がんおよび難治性がん患者が適切な医療を受けられている</p>	<p style="text-align: center;"><u>指 標</u></p> <p>5年相対生存率 【希少がん: 口腔がん 咽頭がん 増加】 【難治性がん: すい臓がん 増加、その他難治性がんも増加】 ※無増長生存率【向上】</p>
<p style="text-align: center;"><u>分野アウトカム</u></p> <p>希少がんおよび難治性がん患者の生存率が向上している</p>	<p style="text-align: center;"><u>指 標</u></p>
<p style="text-align: center;"><u>分野アウトカム</u></p> <p>希少がんおよび難治性がん患者がQOLを保ちながら安心して生活を送れている</p>	<p style="text-align: center;"><u>指 標</u></p>

分野 地域別対策

着実に実施すべき施策
 対策型がん検診ができる医師の確保が困難な状況だが、検診を受けられる体制づくりを圏域で行う。対策型がん検診ができる医師の確保(島根県)

着実に実施すべき施策
 地域拠点病院は離島中核病院と連携し、離島地域におけるがん診療の向上を推進する(沖縄県)

着実に実施すべき施策
 離島中核病院は、離島地域のがん診療向上のため、地域拠点病院の支援を受けつつ、緩和ケア、薬物療法、相談支援、地域医療等の知識の普及を図るため、地域医療機関も含めた研修会等を開催する(沖縄県)

着実に実施すべき施策
 離島中核病院は、地域がん診療病院の指定を視野に診療体制を充実する(沖縄県)

ユニークで実施を検討すべき施策
 拠点病院は、災害時に確認すべき事項を記載できる「がん相談支援センター紹介カード」を活用し、災害時の情報窓口のがん相談支援センターの周知を図り、常にカードを携帯するよう、患者や家族に周知する(熊本県)

ユニークで実施を検討すべき施策
 離島及びへき地のがん患者が、必要な医療を受けるため、居住地以外の医療機関を受診する際の渡航費及び宿泊費を支援する(沖縄県)

効果が期待できず実施を再考すべき施策

中間アウトカム	指 標
地域がん診療病院において標準治療が実施されている	
中間アウトカム	指 標
正しい情報を基に、患者が自ら選択した医療機関を受診できている	
中間アウトカム	指 標
患者が住んでいる地域によって経済的負担格差なく医療機関を受診できる	

分野アウトカム	指 標
住んでいる地域に関わらず、患者本位のがん医療を受けられている	

第16回がん政策サミット2018 都道府県がん対策推進計画「いいところ取り」分野別ロジックモデル

分野 がんの部位別対策

着実に実施すべき施策
 肝がん、大腸がん、肺がん、女性特有のがん、ATL(成人T細胞白血病)の対策

着実に実施すべき施策
 膵臓がん: 尾道方式(危険因子が2つ以上あるかスクリーニングする→専門医につなぐ)

着実に実施すべき施策

ユニークで実施を検討すべき施策
 治療効果の飛躍的な向上が認められたインターフェロンフリー治療等、新たに開発される治療薬に迅速に対応した抗ウイルス治療の費用を治療対象者に助成する(兵庫県)

ユニークで実施を検討すべき施策
 石綿ばく露の可能性のある県民に対して、肺がん検診の継続的な受診とアスベスト検診の積極的な受診を勧奨し(中略)検査に要する経費を助成、「健康管理手帳」を交付する「石綿健康管理支援事業」により、フォローアップを支援する(兵庫県)

ユニークで実施を検討すべき施策
 造血幹細胞移植については、医療機関・患者の情報提供等を図り、移植医療に必要な情報発信に努める(兵庫県)

ユニークで実施を検討すべき施策
 若年層と中高年層が互いに啓発し合えるよう、検討する(愛知県)

効果が期待できず実施を再考すべき施策

中間アウトカム	指 標
地域特有である、特に死亡率が高い、罹患数が多いがんの生存率向上が図られている	受動喫煙の機会を有する者の割合 施設の禁煙化率
中間アウトカム	指 標
中間アウトカム	指 標

分野アウトカム	指 標
地域特有のがんの生存率が上がっている	

分野 地域連携

<p>着実に実施すべき施策</p> <p>拠点病院は地域病院との定期的なカンファレンスを開催する</p>
<p>着実に実施すべき施策</p> <p>県は、薬剤師会と連携し、緩和ケアに対応できる薬剤師の育成のための研修会を開催する</p>
<p>着実に実施すべき施策</p> <p>二次医療圏で完結する医療を提供する</p>
<p>着実に実施すべき施策</p>
<p>着実に実施すべき施策</p>
<p>ユニークで実施を検討すべき施策</p>
<p>ユニークで実施を検討すべき施策</p>
<p>ユニークで実施を検討すべき施策</p>

<p>中間アウトカム</p> <p>拠点病院と地域病院との定期的なカンファレンスが開催されている</p>	<p>指 標</p>
<p>中間アウトカム</p> <p>地域の緩和ケアに対応できる薬局が整備されている</p>	<p>指 標</p>
<p>中間アウトカム</p> <p>40～64歳の末期がん患者に対する介護保険制度の利用が促進されている</p>	<p>指 標</p>

<p>分野アウトカム</p> <p>適切な医療連携に基づく医療を受けられている</p>	<p>指 標</p>
---	------------

効果が期待できず実施を再考すべき施策

分野 在宅緩和ケア

着実に実施すべき施策
相談支援センターを広報する

着実に実施すべき施策
サポートブックなどを有効活用する

着実に実施すべき施策
情報共有ツールの開発と活用をする

着実に実施すべき施策
医療介護スタッフの人材育成をする

着実に実施すべき施策
多職種退院時カンファレンスを充実させる

ユニークで実施を検討すべき施策
在宅緩和ケアマップを作成し活用する(秋田県、熊本県)

ユニークで実施を検討すべき施策
地域で活動する団体を活用して、がんの普及啓発活動をする(群馬県)

ユニークで実施を検討すべき施策

効果が期待できず実施を再考すべき施策
地域連携パスを運用する

中間アウトカム
医療・介護サービス全体が均てん化されている
指 標
在宅医の緩和ケア研修会受講率

中間アウトカム
相談情報サービスが整備されている
指 標
県民の認知率調査

中間アウトカム
医療介護提供者内で、患者情報の共有がされている
指 標
ICTの普及率アップ

分野アウトカム
患者および家族がどこでも全人的なケアを受けられる
指 標
患者家族の満足度

第16回がん政策サミット2018 都道府県がん対策推進計画「いいとこ取り」分野別ロジックモデル

分野 ライフステージに応じたがん対策

- 着実に実施すべき施策
 小児・AYA・高齢のがん患者やがん経験者およびその家族が地域の中で安心して暮らせるよう、拠点病院等のがん相談支援センターの相談支援体制を強化する
- 着実に実施すべき施策
 【高齢者】国がガイドラインを作成した際に、県は地域包括ケアシステムの構築を推進する中で、介護関係者ががんに対する正しい知識を得る機会を確保し、意思決定を支える
- 着実に実施すべき施策
 【AYA】高校生のがん患者に関して状況を把握し、療養中において適切な教育を受けることができる環境の整備や、復学、就労支援等の充実を図る
- 着実に実施すべき施策
 【小児】小児がん患者の長期フォローアップについて、晩期合併症への対応、保育、教育、就労、自立、心理的課題に関する支援をする
- ユニークで実施を検討すべき施策
 【小児】県立病院が遠方から入院している子どもの家族へのつきそい支援を行う(島根県)
- ユニークで実施を検討すべき施策
 【高齢者】拠点のがん相談支援センターは、高齢のがん患者を抱える相続・遺言・成年後見人当の選任に関する問題に対し、関係機関との連携による相談支援に取り組む(秋田県)
- ユニークで実施を検討すべき施策
 【AYA】仕事と治療の両立支援を行う事業所に認定登録し、優良例をホームページに取り上げる(島根県)
- ユニークで実施を検討すべき施策
 【AYA】「ジョブカフェいわて」など、拠点として職業意識を啓発する(岩手県)

中間アウトカム	指 標
高齢期における患者さんの、意思決定支援体制が整備されている	
中間アウトカム	指 標
AYA世代の患者さんに対する、出産、妊孕性、教育、就労に関する体制が整備されている	
中間アウトカム	指 標
小児期の患者さんに対する、教育、晩期合併症、その他長期フォローに関する体制が整備されている	

分野アウトカム	指 標
患者さんがライフステージにおいて、切れ目のない相談支援体制が整備されている	

効果が期待できず実施を再考すべき施策
 【高齢者】高齢の患者さんの診療ガイドラインが普及し、ネビテンスのある情報提供をする(6年ではできない)

分野 がん登録

- 着実に実施すべき施策

がん登録担当者の研修会の実施
- 着実に実施すべき施策

データ(情報)の分析
- 着実に実施すべき施策

普及啓発
- 着実に実施すべき施策

県民への開示・広報
- 着実に実施すべき施策

難治性がん、小児・AYA世代のがん情報
- ユニークで実施を検討すべき施策

OPCデータやレセプト情報のデータとの連携(大阪府)
- ユニークで実施を検討すべき施策

患者や家族が必要なデータの提供→患者目線に立った情報提供(大阪府)
- ユニークで実施を検討すべき施策

大学等の研究機関での研究・分析(専門的な)(青森県)

効果が期待できず実施を再考すべき施策

<p>中間アウトカム</p> <p>がん登録の精度が向上している</p>	<p>指 標</p>
<p>中間アウトカム</p> <p>各地域実情に応じた施策が実施されている</p>	<p>指 標</p>
<p>中間アウトカム</p> <p>患者やその家族等に対する適切な情報提供が行われている</p>	<p>指 標</p>

<p>分野アウトカム</p> <p>患者が安心して質の高い医療を受けられる</p>	<p>指 標</p>
---	------------

第16回がん政策サミット2018 都道府県がん対策推進計画「いいとこ取り」分野別ロジックモデル

分野 がん患者等の就労を含めた社会的な問題

- 着実に実施すべき施策

県は、主治医、会社、産業医および両立支援コーディネーターによる患者へのトライアングルサポート体制の構築を推進する
- 着実に実施すべき施策

県は、患者が働きながら治療を受けられる治療提供体制の整備を推進する
- 着実に実施すべき施策

県は、企業が相談する窓口を整備する
- 着実に実施すべき施策

県等は、職場でのがんの正しい地域の普及、事業者・患者・その家族・経験者に対する理解を促進する
- 着実に実施すべき施策

県は、患者調査を行い、実態を把握する
- ユニークで実施を検討すべき施策

県は、復職させ、就労継続支援を行う中小企業に助成金を交付する
- ユニークで実施を検討すべき施策

患者が働きながら治療を受けられるように、医療機関が治療スケジュール等に関して配慮に努めるよう普及啓発を行う(鹿児島県)
- ユニークで実施を検討すべき施策

効果が期待できず実施を再考すべき施策

中間アウトカム	指 標
仕事と治療の両立についての必要な情報提供が受けられている	患者調査
中間アウトカム	指 標
中間アウトカム	指 標

分野アウトカム	指 標
がんになっても自分らしく生き、働き、安心して暮らしている	患者調査の満足度【増加】

分野 がん教育・普及啓発

<p>着実に実施すべき施策</p> <p>教員へのがん教育の研究会を実施する</p>
<p>着実に実施すべき施策</p> <p>各段階において、がん教育のリーフレットを作成する</p>
<p>着実に実施すべき施策</p> <p>外部講師を活用したがん教育をする</p>
<p>着実に実施すべき施策</p> <p>がん医療の情報提供をする</p>
<p>着実に実施すべき施策</p> <p>がんに関する公開講座を実施する</p>
<p>ユニークで実施を検討すべき施策</p> <p>がん検診の受診勧奨等、がんに関する知識の普及啓発に積極的な企業を認証・表彰する(京都府)</p>
<p>ユニークで実施を検討すべき施策</p> <p>公立図書館を活用したがんに関する普及啓発をする(岐阜県)</p>
<p>ユニークで実施を検討すべき施策</p> <p>「がんを考える日」を国(県)として制定する(グループ案)</p>



<p>中間アウトカム</p> <p>各段階において、がん教育教材を使用したがん教育が実施できている</p>	<p>指 標</p> <p>学校におけるがん教育の実施率</p>
<p>中間アウトカム</p> <p>県民誰もが、がんは個人の問題ではなく社会的な問題であるという認識を共有している</p>	<p>指 標</p> <p>県民の認識率を測る</p>
<p>中間アウトカム</p> <p>学校において「がんに関する啓発」がされている</p>	<p>指 標</p> <p>啓発用リーフレットを使った実施率</p>



<p>分野アウトカム</p> <p>小学校、中学校、高等学校それぞれの発達段階に応じて「がんについて正しい知識」と「健康や命の大切さ」について、理解を深め、自ら実施できる</p>	<p>指 標</p> <p>・将来たばこは吸わないでいようと思う ・がん検診を受けられる年齢になったら受けようと思う</p>
---	--

効果が期待できず実施を再考すべき施策

ピロリ菌の保有者には、定期的な胃がん検診の受診が推奨されていることについて啓発を行う